

第2章

吹田市の子どもと家庭を 取り巻く状況

第2章 吹田市の子どもと家庭を取り巻く状況

1. 人口等の基本的指標

(1) 人口・世帯数の推移

人口は平成 23 年に増加に転じ、平成 26 年は前年に比べ 2,188 人増加しています。世帯数については年々増加傾向となっています。

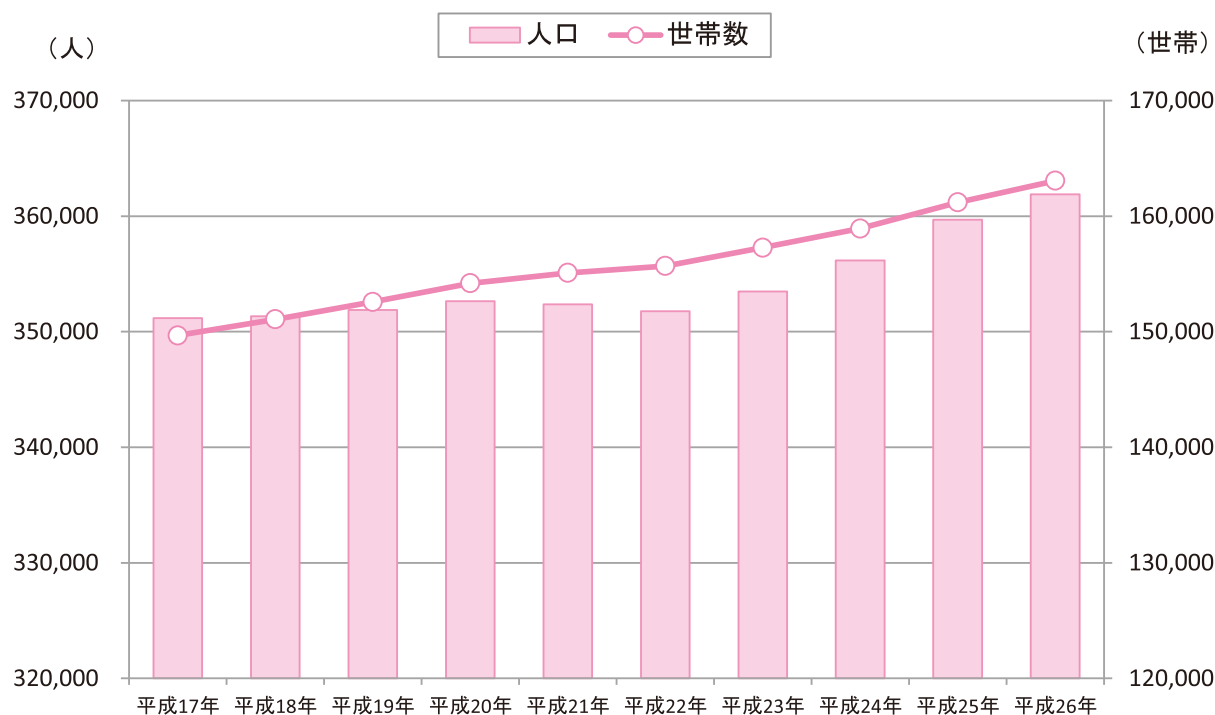


図 1 人口・世帯数の推移

表 1 人口・世帯数の推移

各年10月1日現在

区分	単位	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
人口	(人)	351,168	351,343	351,868	352,626	352,366	351,771	353,493	356,167	359,689	361,877
世帯数	(世帯)	149,679	151,067	152,572	154,196	155,081	155,679	157,273	158,925	161,187	163,064

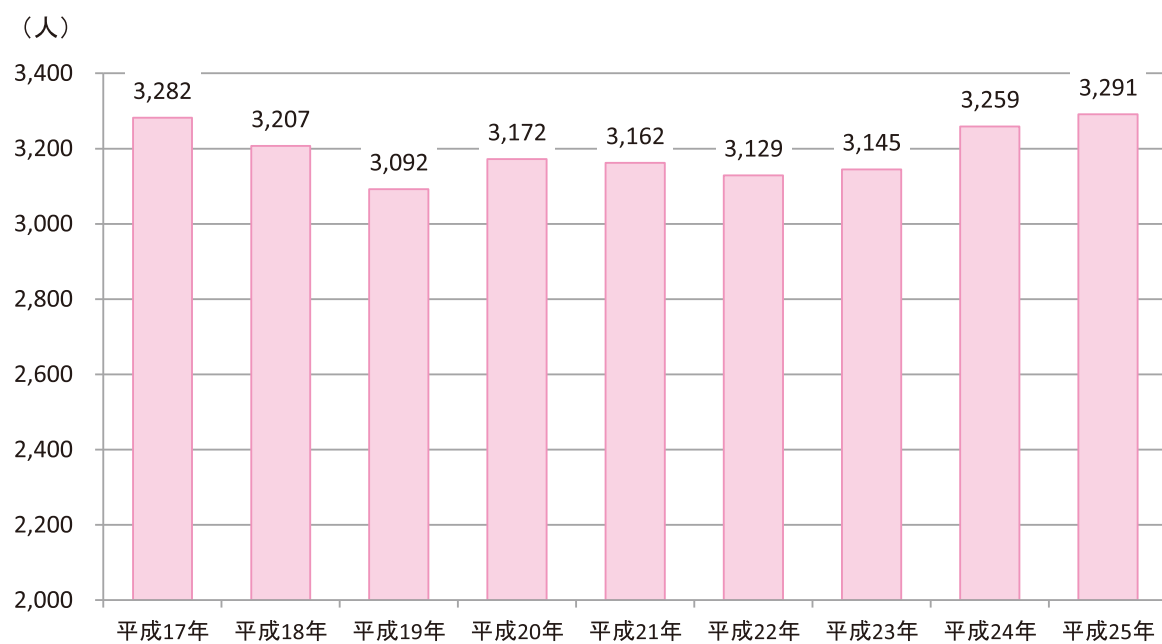
資料：市民課

注：平成 23 年までは、住民基本台帳と外国人登録の合計の人口数です。

平成 24 年度より、住民基本台帳の人口数です。外国人登録法が平成 24 年 7 月 9 日に廃止され、外国人住民の方も住民基本台帳法が適用されることになりました。

(2) 出生数の推移

出生数は平成23年に増加に転じ、平成25年は前年に比べ32人増加しています。



資料:総務室

図2 出生数の推移

(3) 児童数の推移

0歳から5歳の就学前児童数は、平成24年に増加に転じ、平成26年は前年に比べ353人増加しています。

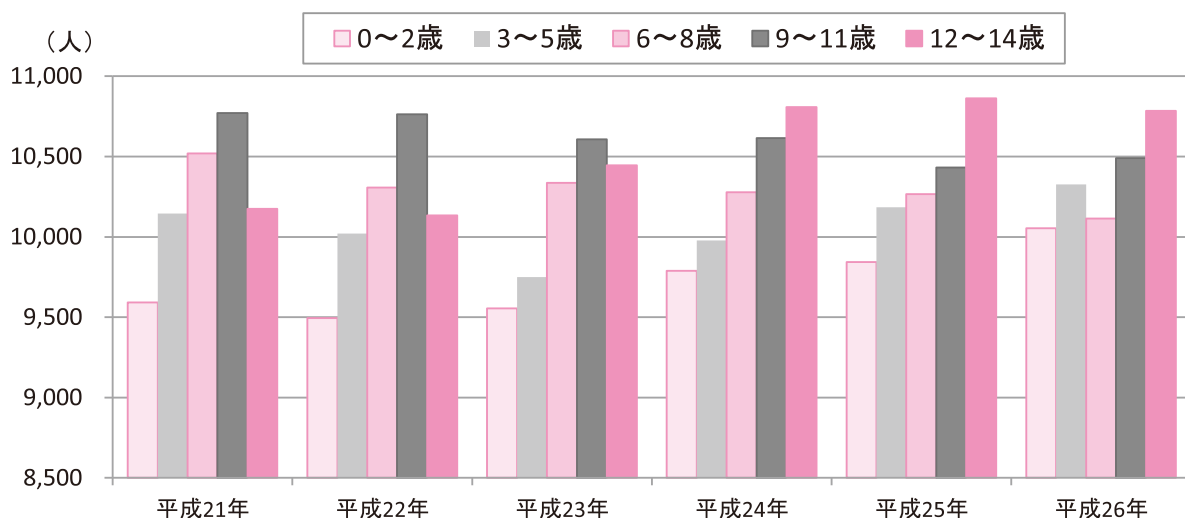


図3 児童数の推移 (15歳未満・3歳区分)

表2 児童数の推移 (15歳未満・3歳区分)

各年4月1日現在

年齢区分(歳)	単位	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
0~2	(人)	9,592	9,495	9,555	9,789	9,843	10,053
3~5	(人)	10,146	10,020	9,750	9,978	10,184	10,327
0~5(計)	(人)	19,738	19,515	19,305	19,767	20,027	20,380
6~8	(人)	10,519	10,307	10,335	10,278	10,266	10,114
9~11	(人)	10,771	10,763	10,607	10,614	10,432	10,489
12~14	(人)	10,173	10,132	10,445	10,807	10,862	10,784
15歳未満(計)	(人)	51,201	50,717	50,692	51,466	51,587	51,767

資料:市民課

表3 児童数の推計 (0~11歳)

各年4月1日現在

年齢区分(歳)	単位	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
0	(人)	2,937	2,875	2,828	2,776	2,725
1,2	(人)	6,678	6,452	6,307	6,187	6,082
3~5	(人)	10,521	10,643	10,735	10,595	10,273
0~5(計)	(人)	20,136	19,970	19,870	19,558	19,080
6~8	(人)	10,007	10,220	10,293	10,413	10,323
9~11	(人)	10,277	10,243	10,005	9,985	10,194
6~11(計)	(人)	20,284	20,463	20,298	20,398	20,517
0~11(計)	(人)	40,420	40,433	40,168	39,956	39,597

資料:子育て支援室

表 4 ブロック別児童数の状況（15 歳未満）

平成26年4月1日現在

年齢(歳)	単位	JR以南	片山・岸部	豊津・江坂 ・南吹田	千里山・ 佐井寺	山田・ 千里丘	千里NT・ 万博・阪大	総 数
0	(人)	208	516	639	590	713	544	3,210
1	(人)	216	549	624	578	777	643	3,387
2	(人)	213	558	614	630	824	617	3,456
0～2(計)	(人)	637	1,623	1,877	1,798	2,314	1,804	10,053
3	(人)	226	447	582	655	847	596	3,353
4	(人)	227	558	607	676	905	611	3,584
5	(人)	208	508	580	671	875	548	3,390
3～5(計)	(人)	661	1,513	1,769	2,002	2,627	1,755	10,327
0～5(計)	(人)	1,298	3,136	3,646	3,800	4,941	3,559	20,380
6	(人)	230	468	524	688	905	553	3,368
7	(人)	250	500	531	671	857	551	3,360
8	(人)	258	501	521	707	898	501	3,386
6～8(計)	(人)	738	1,469	1,576	2,066	2,660	1,605	10,114
9	(人)	247	532	557	730	961	540	3,567
10	(人)	249	502	475	765	913	490	3,394
11	(人)	303	485	539	725	926	550	3,528
9～11(計)	(人)	799	1,519	1,571	2,220	2,800	1,580	10,489
12	(人)	299	495	532	744	958	500	3,528
13	(人)	314	515	528	742	916	543	3,558
14	(人)	332	530	535	778	915	608	3,698
12～14(計)	(人)	945	1,540	1,595	2,264	2,789	1,651	10,784
15歳未満(計)	(人)	3,780	7,664	8,388	10,350	13,190	8,395	51,767
人口総数	(人)	35,056	53,902	62,392	62,985	80,500	65,172	360,007

資料:市民課

注：前月末日現在の住民登録の数と満年齢で集計を行っています。

万博・阪大ブロックは人口が少ないため、千里 NT ブロックに足し上げて表示しています。

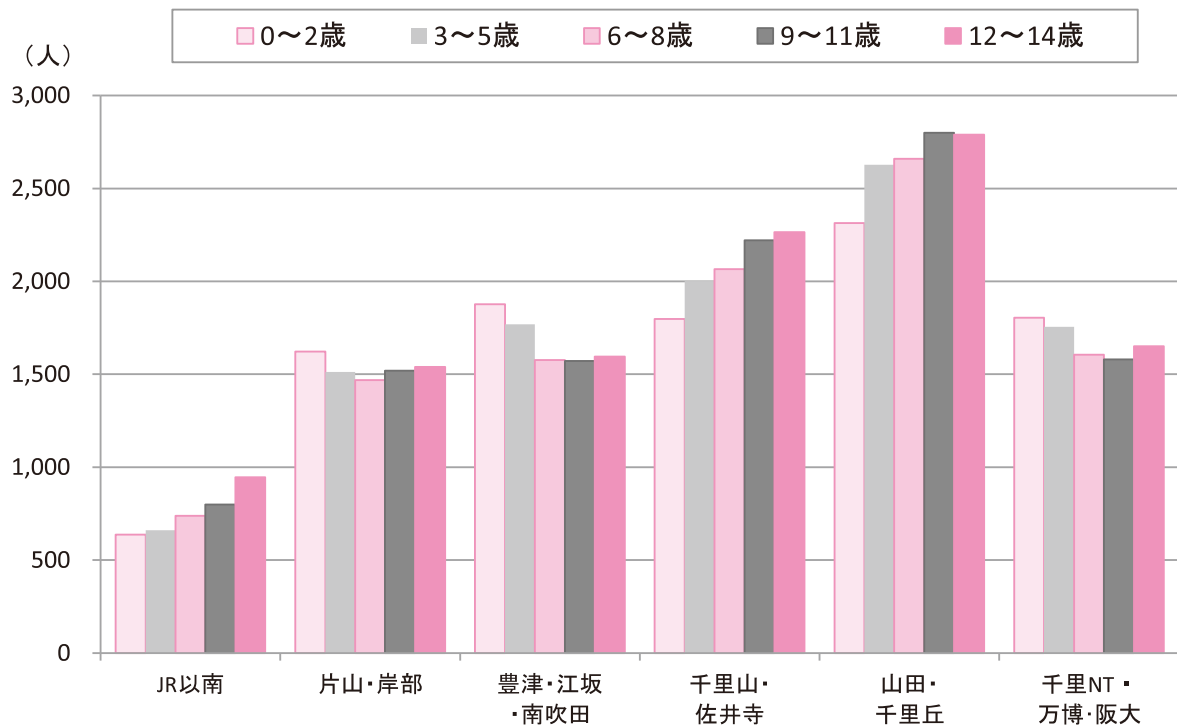


図4 ブロック別児童数（15歳未満・3歳区分）

2. 母子保健

(1) 妊婦健康診査

表 5 妊婦健康診査受診者数の状況

区分	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
延受診者数	(人)	34,373	33,743	33,952	36,031	36,751

資料:保健センター

(2) 妊婦(両親)教室

表 6 妊婦(両親)教室受講者数の状況

区分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
妊娠・出産編	開催回数		(回)	36	36	36	36
	実人数	妊婦	(人)	393	365	421	383
		家族(夫)	(人)	42	57	46	47
		総数	(人)	435	422	467	430
	延人数	妊婦	(人)	819	795	868	799
		家族(夫)	(人)	64	71	80	72
		総数	(人)	883	866	948	871
父親育児編	開催回数		(回)	12	12	12	12
	実人数 (延人数)	妊婦	(人)	363	368	342	362
		家族(夫)	(人)	389	394	377	393
		総数	(人)	752	762	719	755

資料:保健センター

対象:「妊娠・出産編」(3回シリーズ)吹田市在住の妊婦とその家族

「父親育児編」吹田市在住の妊娠7か月以降の妊婦の配偶者で初めて父親になる人

(3) 妊産婦・新生児・乳幼児訪問指導

とりわけ未熟児訪問指導数が増えています。育児不安の軽減や虐待予防の観点から妊娠中及び出産後早期の支援が求められている中、妊娠届出書や医療機関からの連絡をもとに支援の必要な方を的確に把握し、訪問などの支援に努めています。

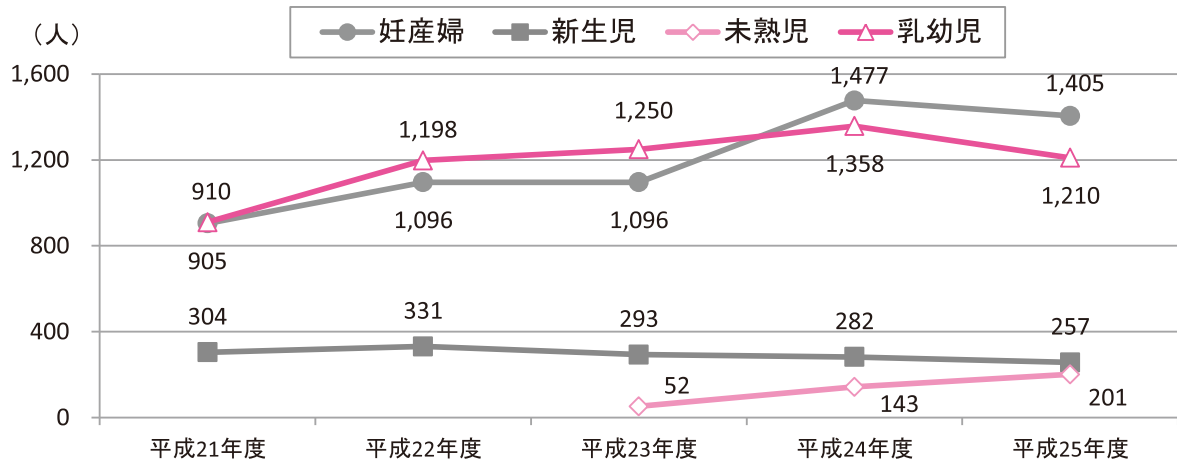


図5 妊産婦・新生児・乳幼児訪問指導（実人数）の推移

表7 妊産婦・新生児・乳幼児訪問指導の推移

区分			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
妊産婦	実人数	(人)		905	1,096	1,096	1,477	1,405
	延人数	(人)		923	1,129	1,185	1,735	1,671
新生児	実人数	(人)		304	331	293	282	257
	延人数	(人)		312	334	302	291	272
未熟児	実人数	(人)		—	—	52	143	201
	延人数	(人)		—	—	57	158	235
乳幼児	実人数	(人)		910	1,198	1,250	1,358	1,210
	延人数	(人)		1,072	1,475	1,701	1,715	1,508

資料:保健センター

注:平成23年10月1日から一部(生下時体重2001g~2499g)の未熟児、平成25年4月からはすべての未熟児に対して訪問を実施(一部の身体障がい児については、吹田保健所が実施)

表8 出生児に対する訪問指導の推移

区分	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
出生児	(人)	3,184	3,090	3,135	3,222	3,286
訪問指導人数	(人)	963	1,073	1,103	1,161	1,329
訪問率	(%)	30.2	34.7	35.2	36.0	40.4

資料:市民課、保健センター

注:新生児期、乳児期に訪問した実人数

(4) 4か月児健診・保健指導事業（すくすく赤ちゃんクラブ）

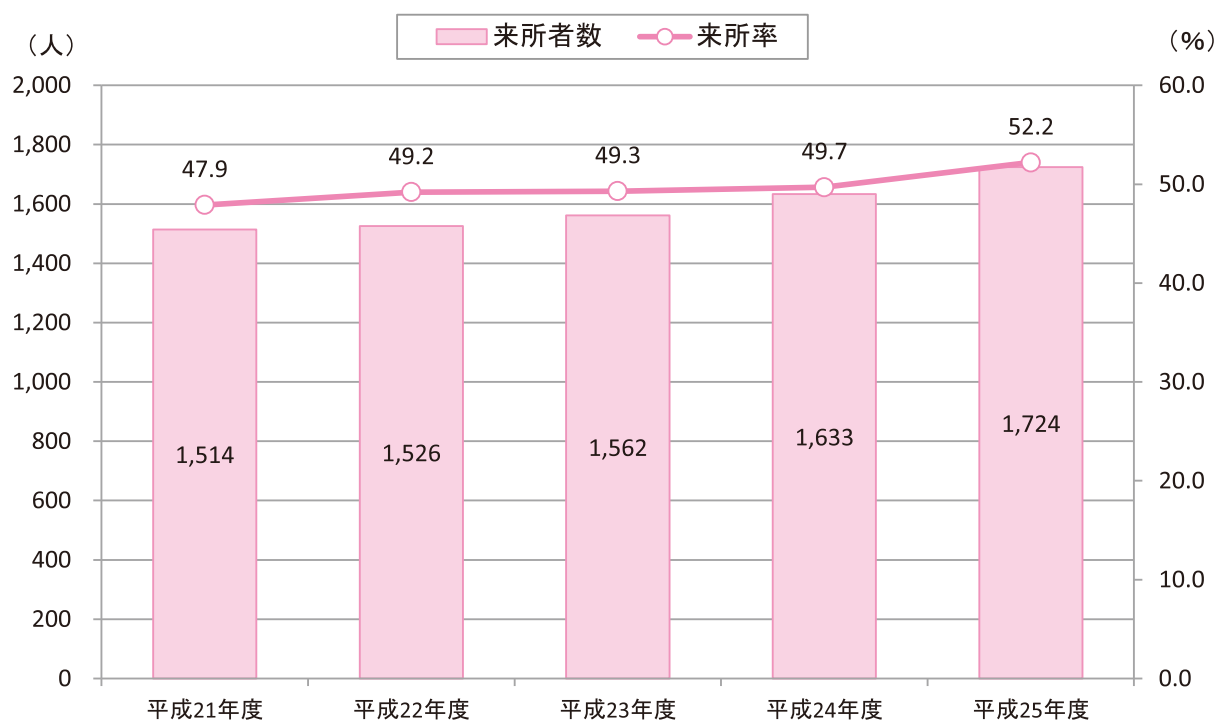


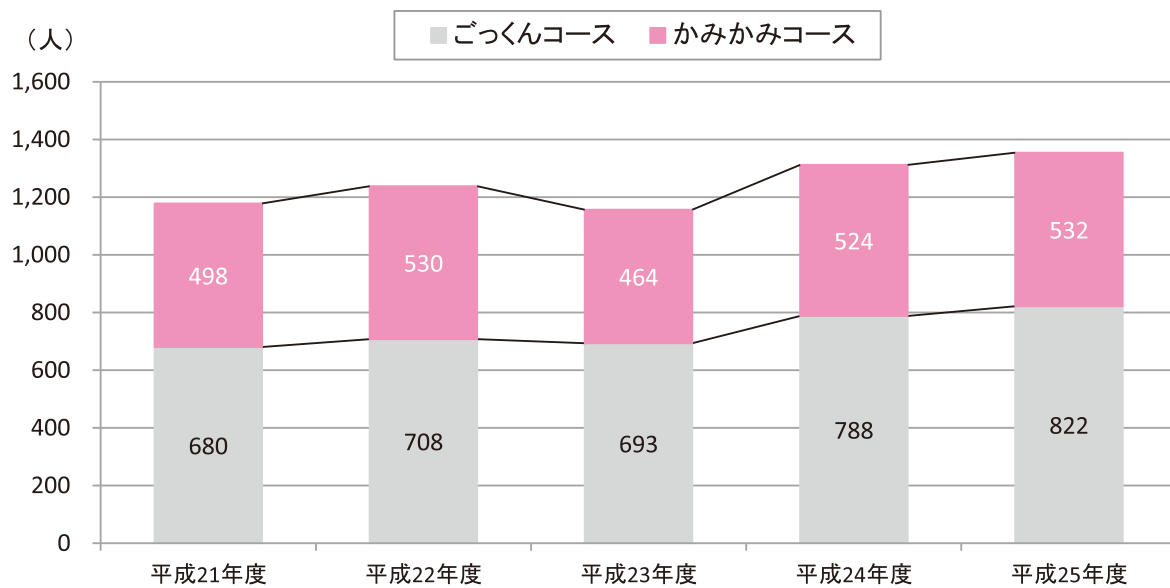
図6 すくすく赤ちゃんクラブの来所状況

表9 4か月児健診・保健指導事業（すくすく赤ちゃんクラブ）の状況

区分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
対象者		(人)	3,162	3,104	3,170	3,286	3,313
4か月児健診	受診児数	(人)	3,060	3,028	3,073	3,173	3,184
	受診率	(%)	96.8	97.6	96.9	96.6	96.1
すくすく赤ちゃんクラブ	回数	(回)	69	78	83	84	85
	来所者数	(人)	1,514	1,526	1,562	1,633	1,724
	来所率	(%)	47.9	49.2	49.3	49.7	52.2

資料：保健センター

(5) 離乳食講習会



資料:保健センター

図7 離乳食講習会受講者数の状況

- 注：(1) 各コースの対象 ごっくんコース・・・生後5～6か月前後の乳児を持つ保護者
 かみかみコース・・・生後9～11か月前後の乳児を持つ保護者
 (2) 開催回数については、各コース24回（平成25年度は計50回）実施しています。

(6) 1歳6か月児健診・3歳児健診

表 10 1歳6か月児健診の状況

区分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
対象児数		(人)	3,215	3,287	3,256	3,233	3,495
内科健診	受診児数	(人)	3,080	3,188	3,120	3,146	3,364
	()個別内科 健診受診児数	(人)	(1,139)	(1,175)	(1,129)	(1,113)	(1,170)
	受診率	(%)	95.8	97.0	95.8	97.3	96.3
歯科健診	受診児数	(人)	2,939	3,052	3,037	3,023	3,281
	受診率	(%)	91.4	92.9	93.3	93.5	93.9

資料:保健センター

注:内科健診は個別・集団併用方式であるが、歯科健診は集団方式のみです。

表 11 3歳児健診の状況

区分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
対象児数		(人)	3,350	3,236	3,263	3,366	3,421
内科健診	受診児数	(人)	2,961	2,826	2,878	3,052	3,030
	()個別内科 健診受診児数	(人)	(2,003)	(1,969)	(1,987)	(2,032)	(1,880)
	受診率	(%)	88.4	87.3	88.2	90.7	88.6
歯科健診	受診児数	(人)	2,554	2,507	2,576	2,733	2,779
	受診率	(%)	76.2	77.5	78.9	81.2	81.2

資料:保健センター

注:内科健診は個別・集団併用方式であるが、歯科健診は集団方式のみです。

(7) 育児支援家庭訪問事業

表 12 育児支援家庭訪問事業の状況

区分			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
専門的支援	保護者に対すること	実人数	(人)	42	194	125	88	90
		延人数	(人)	71	372	298	209	253
	子どもに対すること	実人数	(人)	259	420	348	277	218
		延人数	(人)	360	774	780	523	460
育児・家事等の援助 (訪問)		実件数	(人)	9	14	26	16	18
		延件数	(人)	85	103	334	367	272

資料:保健センター、子育て支援室

注:専門的支援については、保健センターが平成17年9月から実施

また、育児・家事等の援助については、子育て支援室が平成18年9月から実施。

3. 各種相談

(1) 子育て相談

のびのび子育てプラザでの開設により、平成 23 年度から電話だけでなく、ロビーワーカーを配置し、利用している親子を見守りながら子育て相談を受けるなど相談の機会を拡大し、相談件数は増加しています。

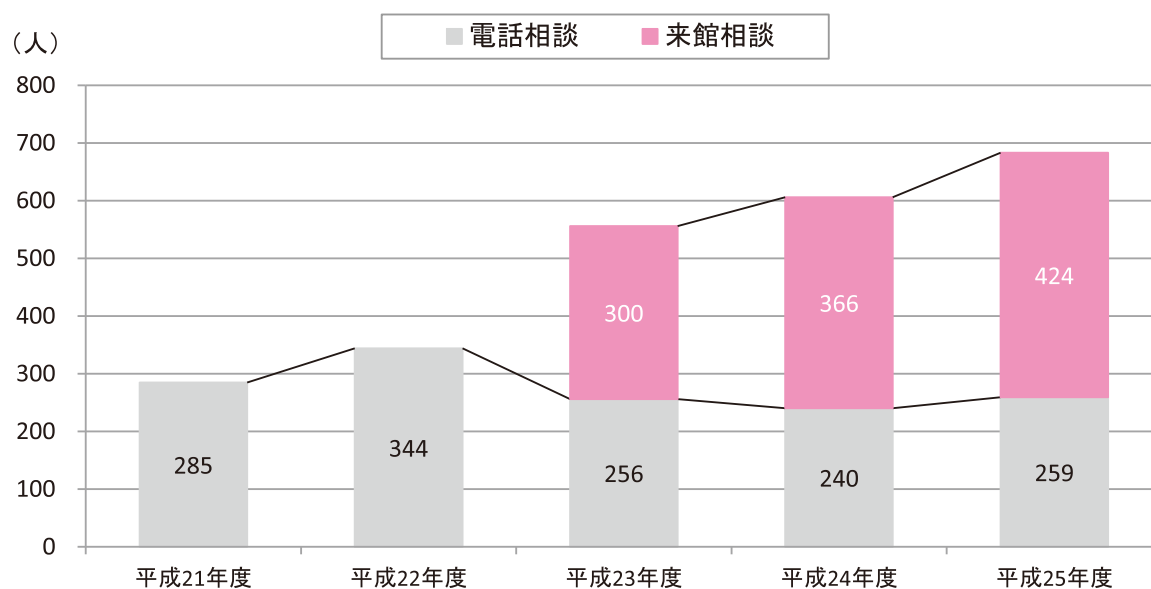
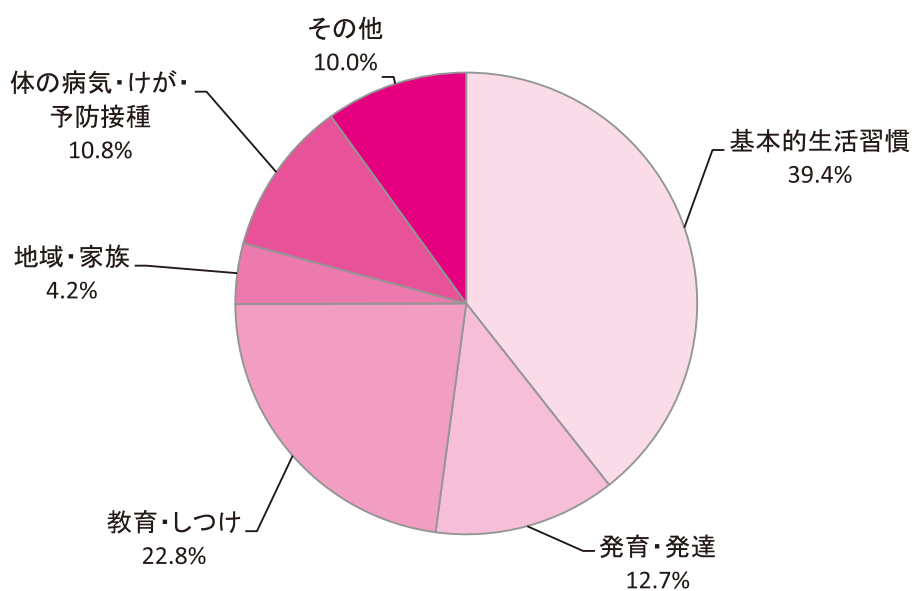


図 8 子育て相談件数の推移

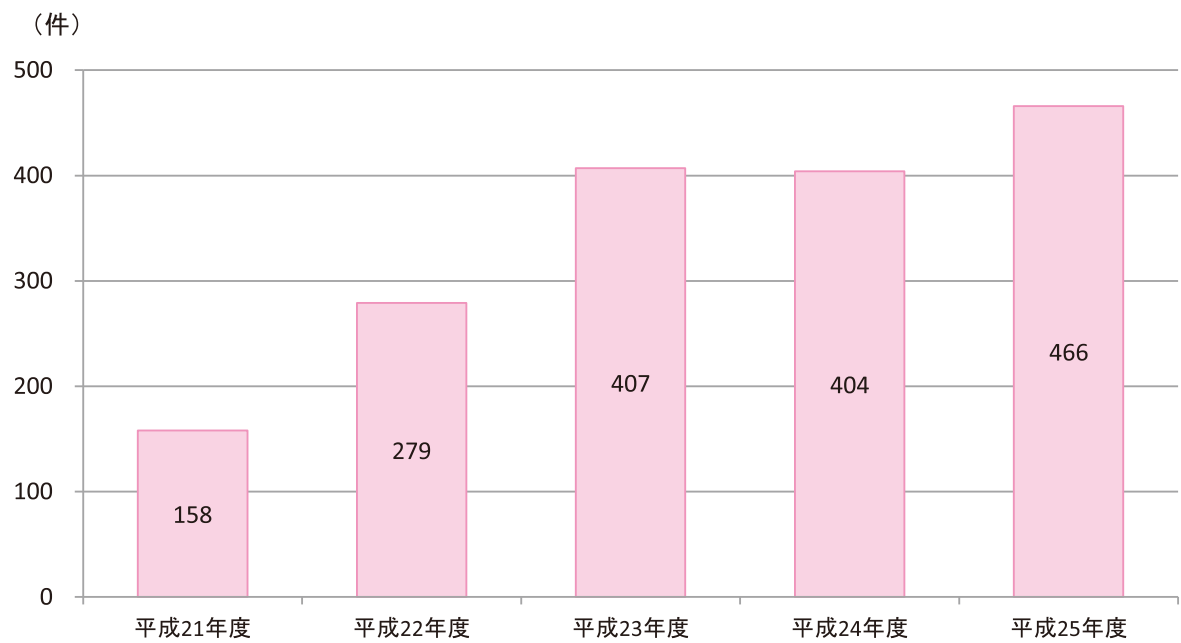
注：平成 23 年度にのびのび子育てプラザで来館相談を開始



資料：のびのび子育てプラザ

図 9 平成 25 年度相談内容の内訳

(2) 児童虐待相談



資料:子育て支援室

図 10 児童虐待相談件数の推移

4. 保育所・幼稚園

(1) 保育所

保育所待機児童数は、前年に比べ109人減少しています。

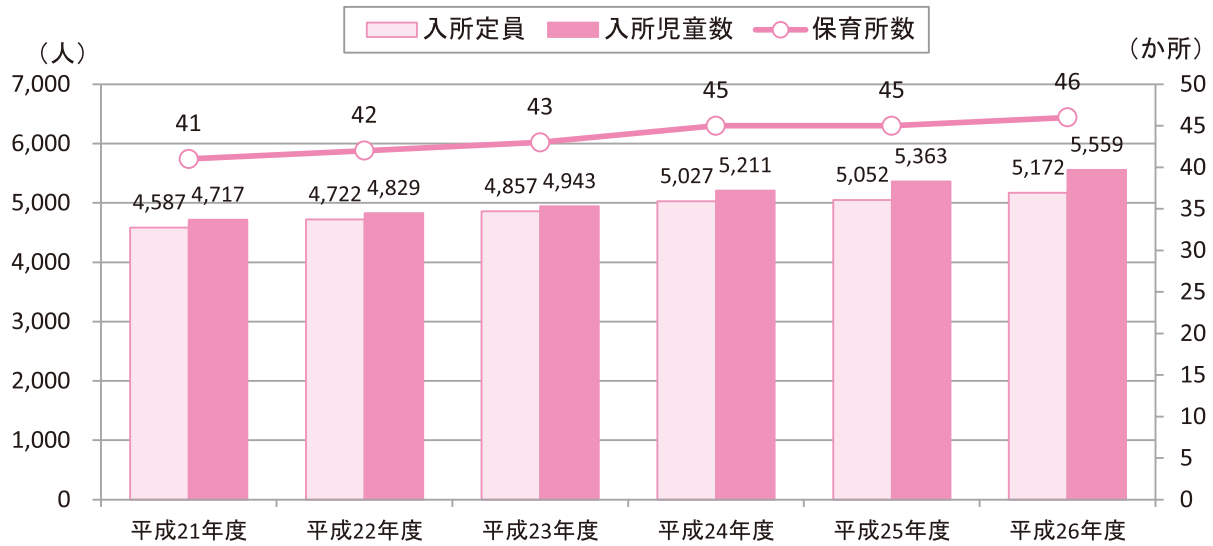


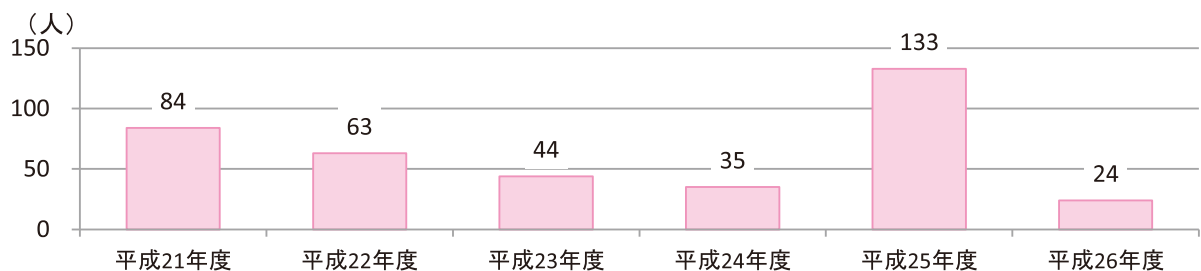
図 11 保育所の状況

表 13 保育所数・入所定員・入所児童数の推移

			各年度4月1日現在					
区分	単位		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
保育所数	総数	(か所)	41	42	43	45	45	46
	公立	(か所)	18	18	18	18	18	18
	私立	(か所)	23	24	25	27	27	28
入所定員	総数	(人)	4,587	4,722	4,857	5,027	5,052	5,172
	公立	(人)	2,112	2,112	2,112	2,112	2,112	2,112
	私立	(人)	2,475	2,610	2,745	2,915	2,940	3,060
入所児童数	総数	(人)	4,717	4,829	4,943	5,211	5,363	5,559
	公立	(人)	2,094	2,092	2,070	2,106	2,152	2,197
	私立	(人)	2,623	2,737	2,873	3,105	3,211	3,362

※公立：市内の公立に限る、私立：市外の公立を含む

資料：保育幼稚園課



資料：保育幼稚園課

図 12 保育所待機児童数の推移

(2) 一時預かり

平成 23 年度に実施か所数が 7 か所から 10 か所に増えたことにより、利用日数も増加しています。特に非定型の利用が増加しており、ニーズが高まっています。

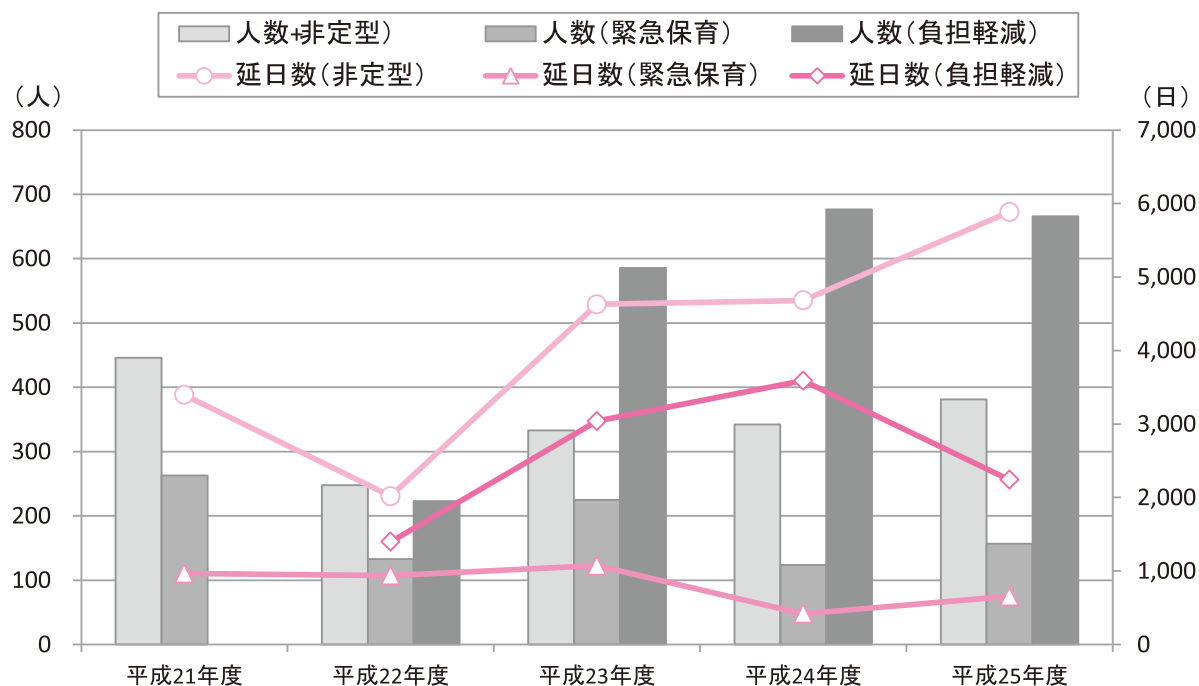


図 13 一時預かり利用状況

表 14 一時預かり利用状況

区分	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
実施か所数	(か所)	7	7	10	10	10
人数(総数)	(人)	709	604	1,144	1,143	1,204
人数(非定型)	(人)	446	248	333	342	381
人数(緊急保育)	(人)	263	133	225	124	157
人数(負担軽減)	(人)	—	223	586	677	666
延日数(総数)	(日)	4,361	4,353	8,741	8,690	9,920
延日数(非定型)	(日)	3,395	2,018	4,628	4,683	5,886
延日数(緊急保育)	(日)	966	937	1,072	418	654
延日数(負担軽減)	(日)	—	1,398	3,041	3,589	2,241

資料：保育幼稚園課、のびのび子育てプラザ

注：平成 21 年度までは負担軽減は緊急保育の数に含まれています。

(3) 緊急保育

表 15 緊急保育利用状況

区分	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
人数	(人)	43	65	67	56	63
延日数	(日)	1,029	1,757	1,935	1,082	1,865

資料: 保育幼稚園課

(4) 病児・病後児保育

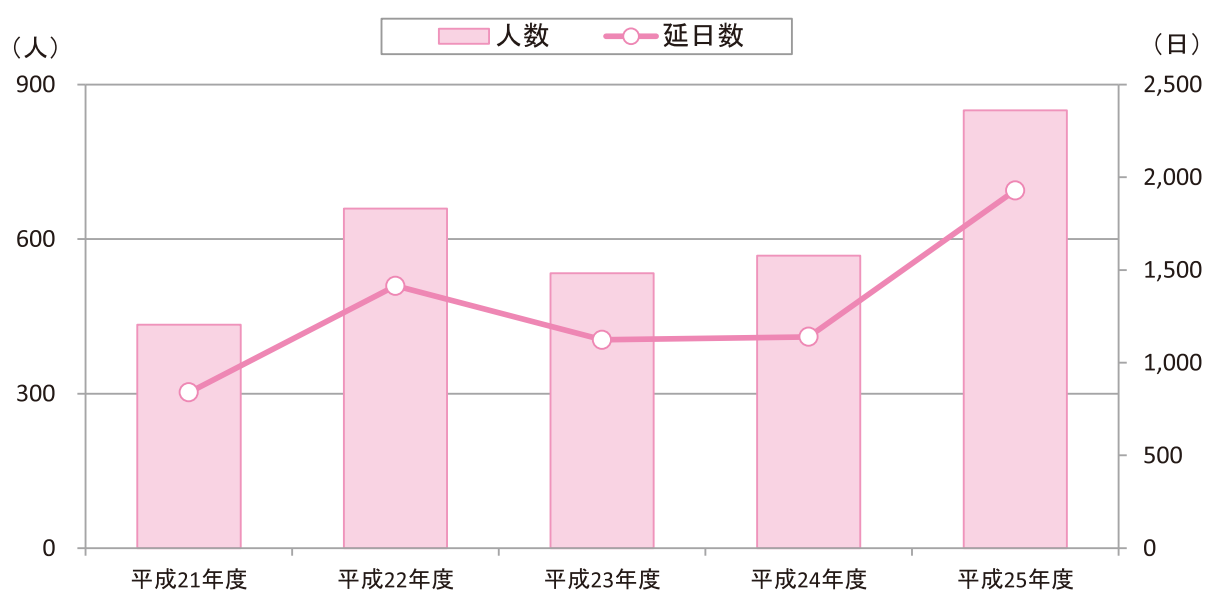


図 14 病児病後児保育利用状況

表 16 病児病後児保育利用状況

区分	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
実施か所数	(か所)	2	2	2	(注) 3	2
人数	(人)	434	659	534	568	850
延日数	(日)	840	1,414	1,123	1,139	1,929

資料: 保育幼稚園課

注: 平成 25 年 3 月に病後児保育室 1 か所閉室、病児・病後児保育室 1 か所開室

(5) 幼稚園

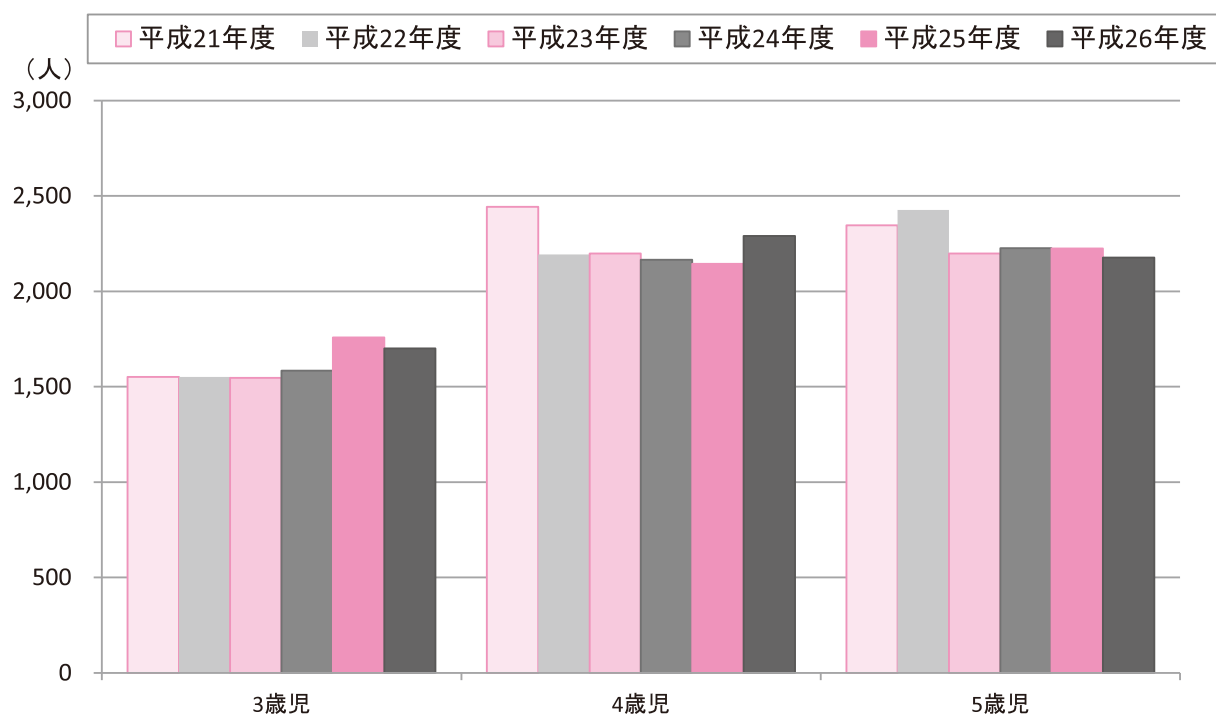


図 15 幼稚園在園児の状況

表 17 幼稚園在園児の状況

		各年度5月1日現在					
年齢	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
3歳児	(人)	1,552	1,552	1,546	1,584	1,759	1,701
4歳児	(人)	2,443	2,193	2,198	2,165	2,145	2,291
5歳児	(人)	2,346	2,426	2,198	2,227	2,224	2,177
総数	(人)	6,341	6,171	5,942	5,976	6,128	6,169

資料: 保育幼稚園課

注: 吹田市内在住者で市外幼稚園在籍者を含みます

5. 地域の子育て支援

(1) 地域子育て支援センター

表 18 地域子育て支援センターの状況

区分	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
育児教室	(組)	3,560	3,629	3,485	3,513	3,613
育児相談	(件)	3,670	4,233	3,770	4,164	3,881
園行事	(人)	25,637	29,358	26,117	25,597	23,714
子育てサークル支援	(人)	13,261	18,142	16,151	17,476	15,201
園庭開放	(人)	10,728	12,857	11,754	13,828	12,495

資料:子育て支援室

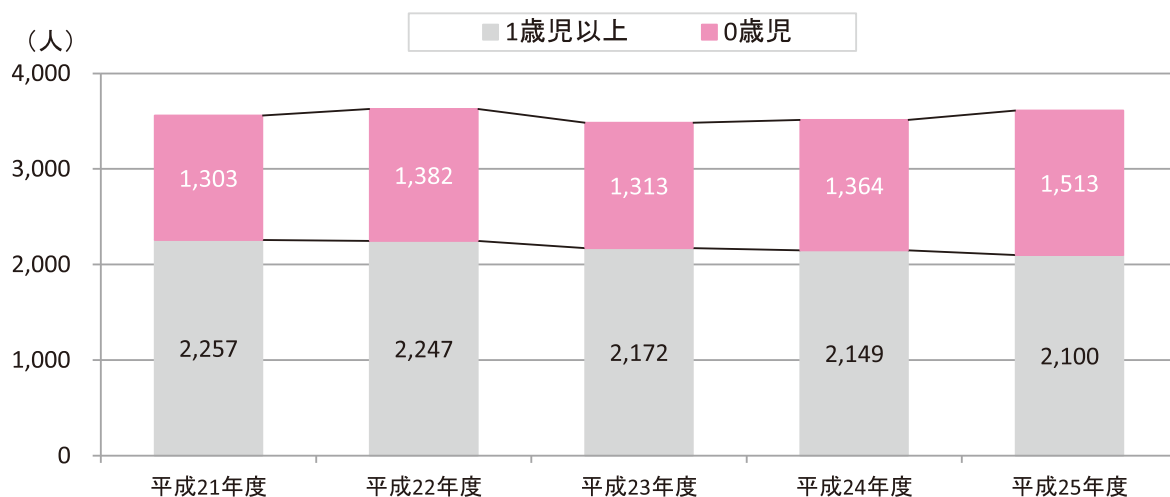


図 16 育児教室参加組数の推移

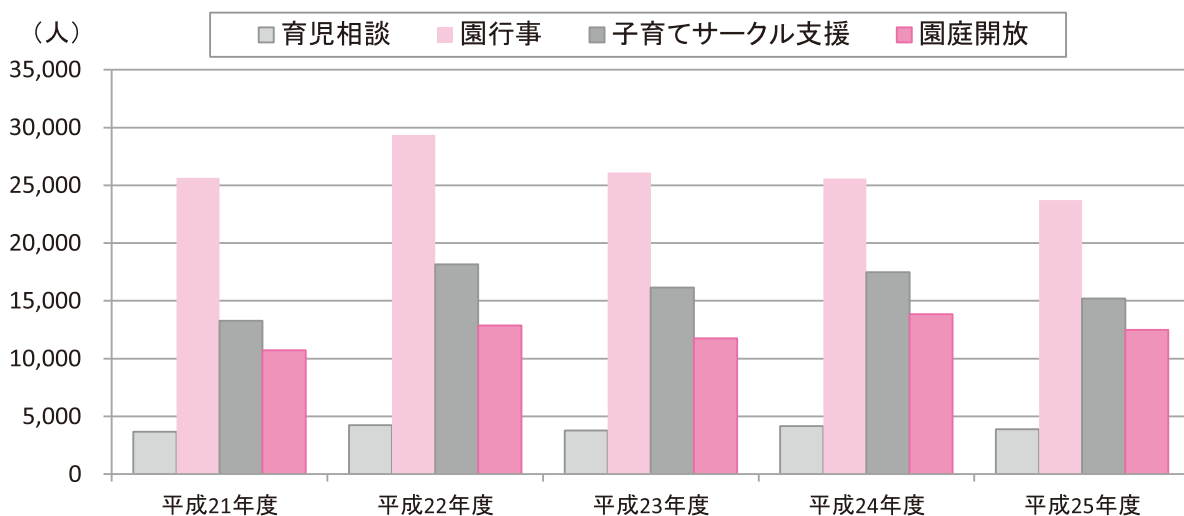


図 17 園行事等の参加者数の推移

（２）子育て広場

子育て広場は、開設か所数の増加により、利用者も増加傾向にあります。

表 19 子育て広場開設か所数と利用者数の状況

区分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
開設か所数		(か所)	6	7	8	8	8
利用者数	大人	(人)	10,617	13,686	14,079	15,175	19,301
	乳幼児	(人)	12,273	15,583	16,299	18,012	17,102

資料：子育て支援室

（３）子育てサロン（地区福祉委員会による）

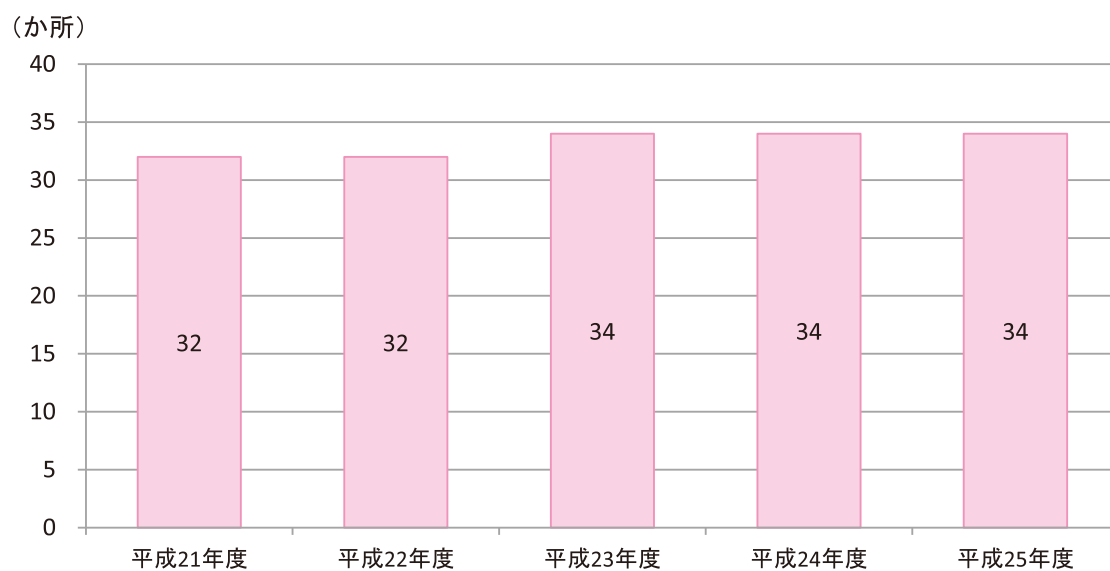


図 18 子育てサロン実施か所数の推移

(4) 児童会館・児童センター

児童会館・児童センターでは、幼児教室の実施など小学生だけでなく就学前の親子の居場所になるよう取り組んできた結果、乳幼児の利用が伸びています。

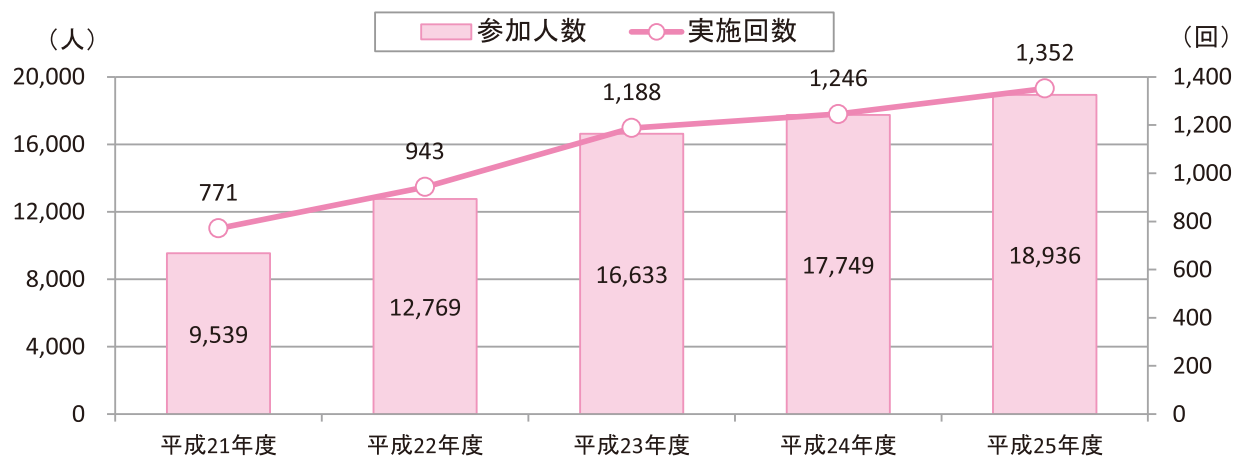


図 19 幼児教室実施状況

資料:子育て支援室

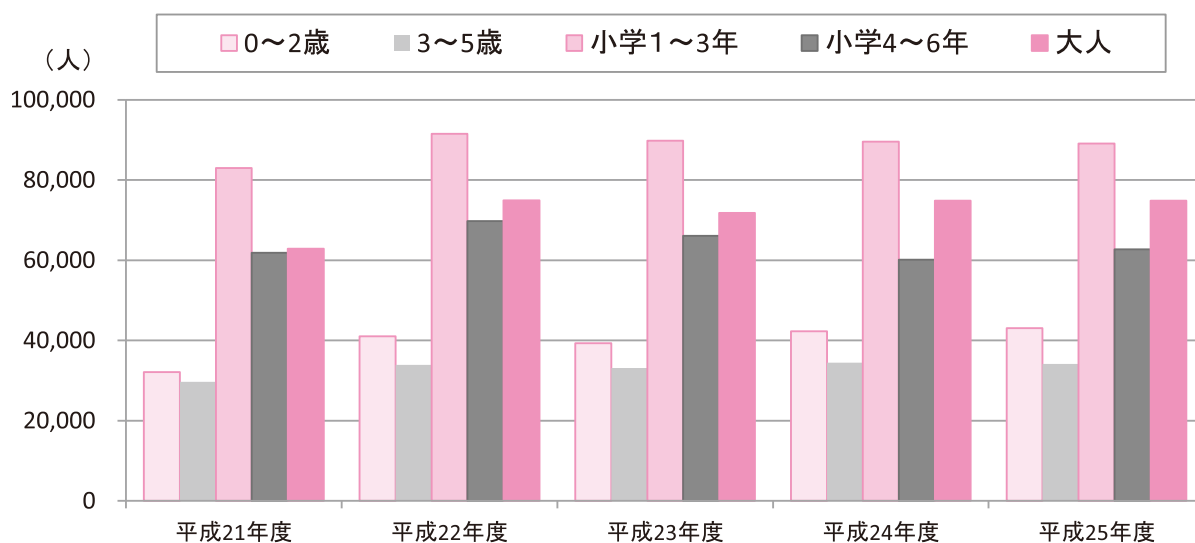


図 20 児童会館・児童センター利用者数の推移

資料:子育て支援室

表 20 児童会館・児童センターの年齢（3歳区分）別延べ利用者数

区分	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
0～2歳	(人)	32,110	41,006	39,349	42,325	43,069
3～5歳	(人)	29,653	33,904	33,131	34,485	34,155
小学1～3年	(人)	82,988	91,563	89,810	89,566	89,104
小学4～6年	(人)	61,877	69,813	66,060	60,146	62,760
子ども(計)	(人)	206,628	236,286	228,350	226,522	229,088
大人	(人)	62,889	74,921	71,830	74,831	74,851

資料:子育て支援室

(5) ファミリー・サポート・センター

活動件数は平成 24 年度にかけて減少傾向で推移してきましたが、平成 25 年度には増加に転じ、依頼会員数・援助会員数はともに増加傾向にあります。

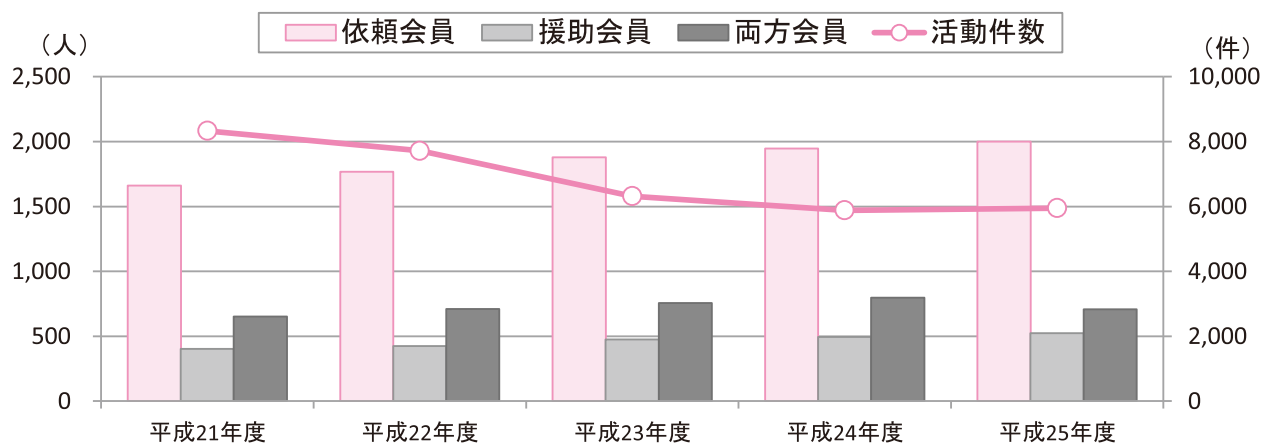


図 21 ファミリー・サポート・センター事業の状況

表 21 ファミリー・サポート・センター事業の状況

各年度末人数及び件数

区分	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
依頼会員	(人)	1,662	1,768	1,879	1,947	1,999
援助会員	(人)	403	425	474	495	524
両方会員	(人)	652	710	756	797	706
活動件数	(件)	8,328	7,718	6,318	5,882	5,951

資料: のびのび子育てプラザ

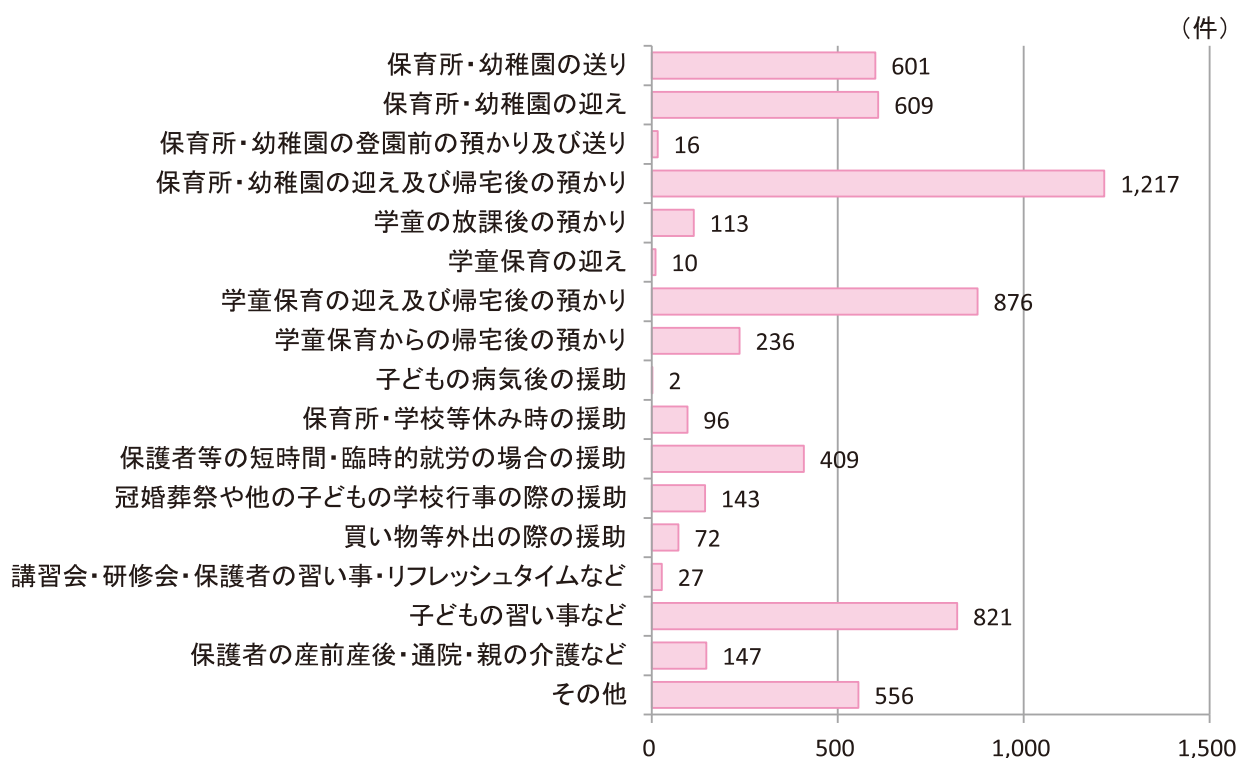


図 22 平成 25 年度 ファミリー・サポート・センター活動内容別件数

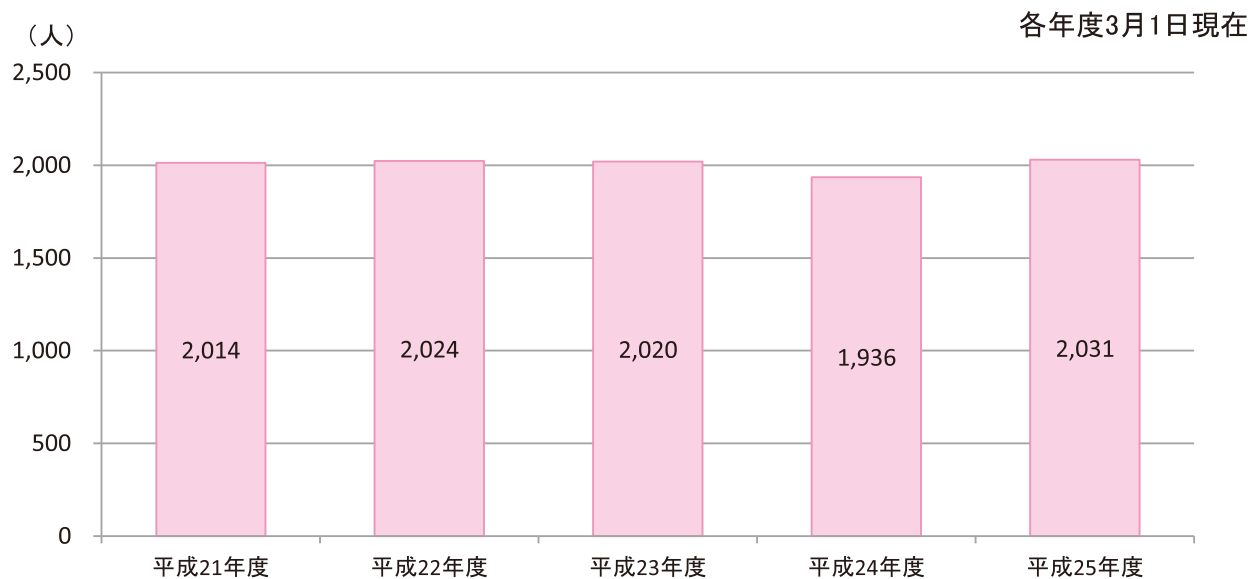
(6) ショートステイ

表 22 ショートステイ事業の状況

区分	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
人数	(人)	2	3	4	7	10
延日数	(日)	22	14	20	34	48

資料:子育て支援室

(7) 留守家庭児童育成室



資料:児童育成課

図 23 留守家庭児童育成室在籍児童数の推移

6. アンケート調査結果からみた子育て支援ニーズ

(1) 母親の就労状況

母親の就労状況をたずねたところ、就学前児童の母親では「以前は働いていたが、今は働いていない」が最も多く 48.5%となっており、年齢が上がるにつれて、働いていない割合が減少しています。

表 23 就学前児童の母親の就労状況

	フルタイムで働いている	フルタイムで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）	パート・アルバイトなどで働いている	パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）	以前は働いていたが、今は働いていない	これまで働いたことがない	不明	合計
0歳【N=334】	2.5%	5.1%	1.0%	0.5%	12.4%	1.0%	0.3%	23.0%
1歳【N=229】	3.7%	0.8%	1.7%	0.1%	8.5%	0.6%	0.3%	15.7%
2歳【N=232】	3.2%	0.4%	2.0%	0.0%	8.5%	1.6%	0.2%	16.0%
3歳【N=234】	3.0%	0.3%	4.1%	0.1%	7.6%	1.0%	0.1%	16.1%
4歳【N=193】	2.8%	0.2%	3.6%	0.1%	5.6%	1.0%	0.0%	13.3%
5歳【N=196】	2.6%	0.2%	4.3%	0.0%	4.9%	1.3%	0.2%	13.5%
不明【N=36】	0.7%	0.0%	0.4%	0.0%	0.9%	0.3%	0.1%	2.5%
合計	18.6%	7.0%	17.1%	0.7%	48.5%	6.9%	1.2%	100.0%

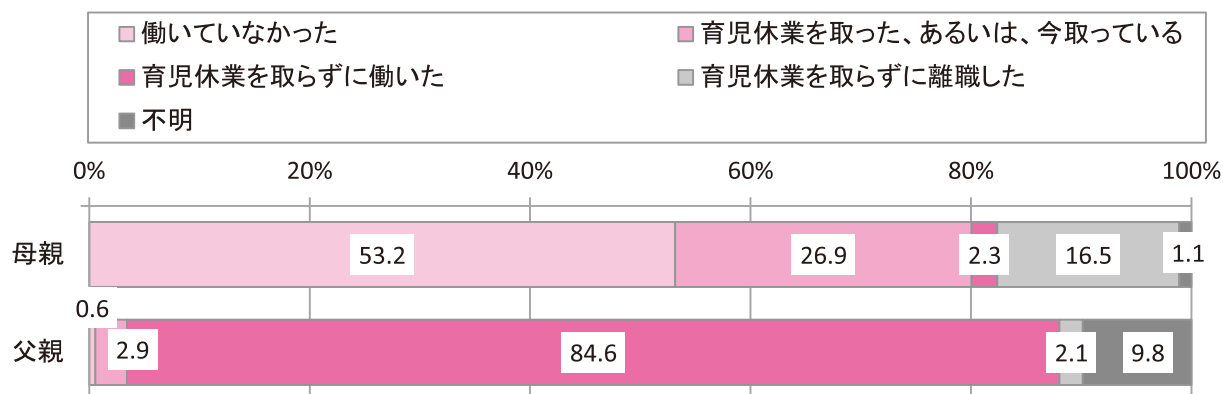
また、小学生の母親では「パート・アルバイトなどで働いている」が最も多く 43.0%となっており、「フルタイムで働いている」と「パート・アルバイトなどで働いている」を合わせると、6割を超えています。

表 24 小学生の母親の就労状況

	フルタイムで働いている	フルタイムで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）	パート・アルバイトなどで働いている	パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）	以前は働いていたが、今は働いていない	これまで働いたことがない	不明	合計
1年生【N=228】	3.6%	0.1%	5.3%	0.0%	4.4%	2.1%	0.2%	15.6%
2年生【N=245】	3.9%	0.0%	6.4%	0.1%	4.2%	1.6%	0.6%	16.8%
3年生【N=225】	2.7%	0.1%	7.8%	0.0%	2.9%	1.4%	0.5%	15.4%
4年生【N=225】	3.1%	0.1%	6.6%	0.1%	3.2%	1.8%	0.6%	15.4%
5年生【N=213】	3.1%	0.0%	6.6%	0.1%	3.6%	1.0%	0.2%	14.6%
6年生【N=237】	3.4%	0.0%	7.7%	0.1%	3.0%	1.7%	0.2%	16.2%
不明【N=89】	1.8%	0.0%	2.7%	0.0%	0.9%	0.6%	0.1%	6.1%
合計	21.5%	0.2%	43.0%	0.3%	22.1%	10.3%	2.5%	100.0%

（２）育児休業の取得状況

育児休業の取得状況を就学前児童のいる家庭（1,454 人）にたずねたところ、母親では「働いていなかった」が最も多く 53.2%、父親では「育児休業を取らずに働いた」が最も多く 84.6%となっています。



（３）平日の定期的な幼稚園や保育所などの利用

平日の定期的な幼稚園や保育所などの現在の利用状況と利用希望をたずねたところ、現在と希望の差をみると、希望の方が多いものは、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が最も多く 39.5 ポイント差、その次に「子育ての仲間が集まる場」が 22.7 ポイント差、「認定こども園」が 16.9 ポイント差となっています。

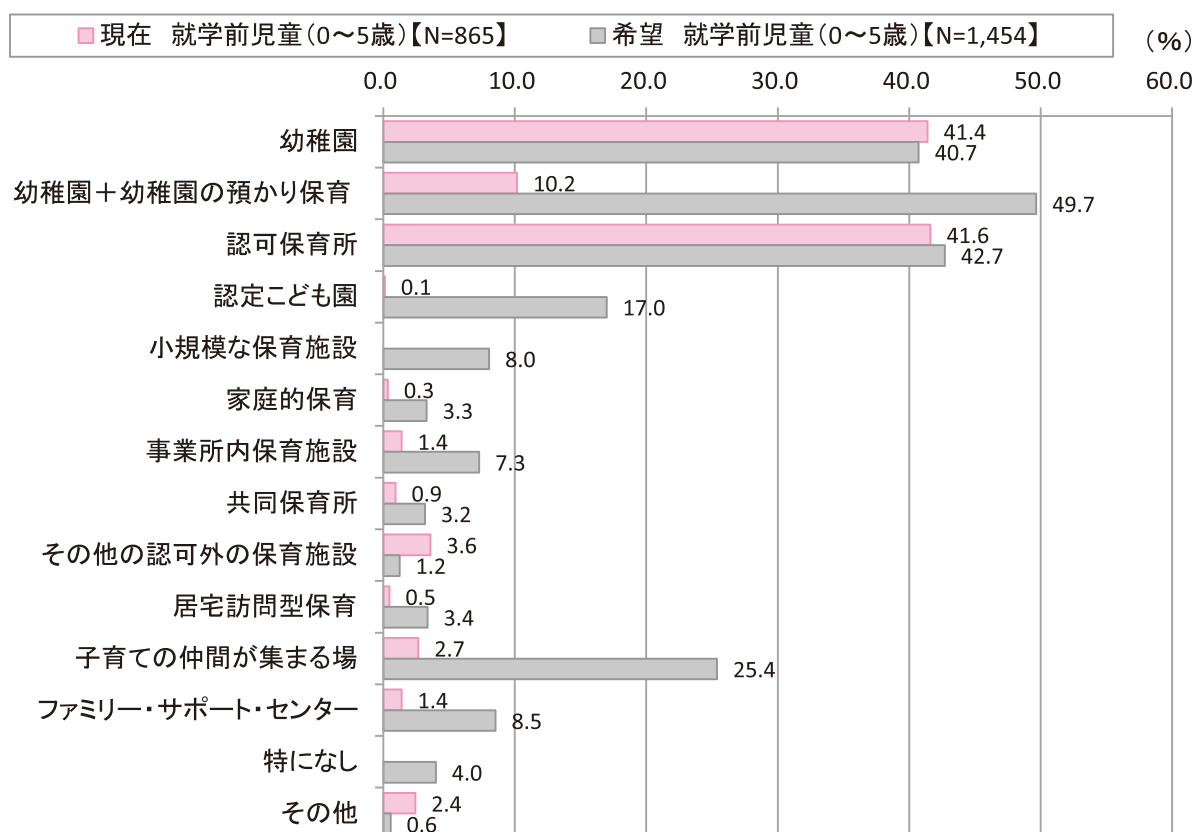


図 25 平日の定期的な幼稚園や保育所などの利用

(4) 一時預かりなどの利用状況

保護者自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを預かるサービスを「不定期に」利用しましたかについて、就学前児童のいる家庭（1,454 人）にたずねたところ、「利用していない」が最も多く 76.3%となっています。

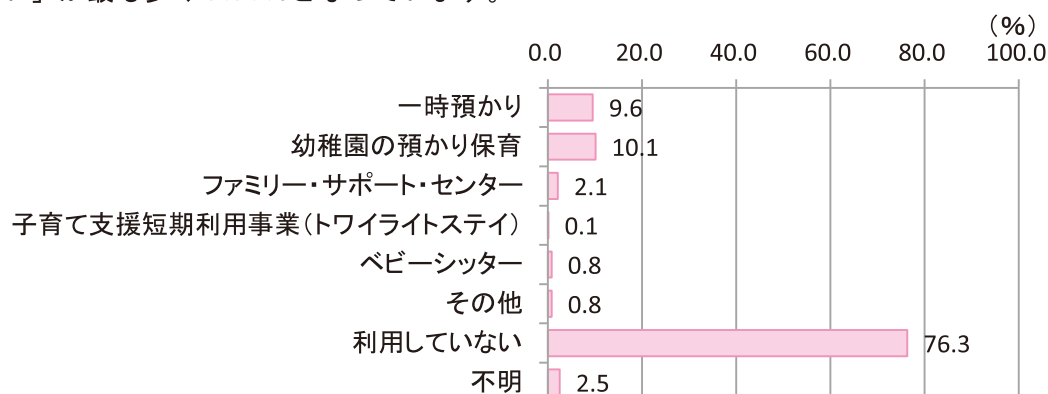


図 26 一時預かりなどの利用状況

(5) 病児保育の利用希望

病児保育の利用希望について、就学前児童のいる家庭では、「利用したいと思わない」が最も多く 51.9%となっています。母親の就労状況別にみると、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」で母親が「フルタイムで働いている」が最も多く 52.2%となっています。

表 25 就学前児童のいる家庭における病児保育の利用状況

単位: %

就学前児童のいる 母親の就労状況		利用したい 保育施設など を	できれば病 気の子のため の	利用したい と思わな い	不明
合計	【N=401】	44.4	51.9	3.7	
フルタイムで働いている	【N=207】	52.2	44.9	2.9	
フルタイムで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）	【N=22】	50.0	50.0	0.0	
パート・アルバイトなどで働いている	【N=146】	39.0	59.6	1.4	
パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）	【N=1】	0.0	100.0	0.0	
以前は働いていたが、今は働いていない	【N=22】	4.5	63.6	31.8	
これまで働いたことがない	【N=2】	50.0	50.0	0.0	

また、小学生のいる家庭では、「利用したいと思わない」が最も多く 77.0%となっています。母親の就労状況別にみると、「以前は働いていたが、今は働いていない」が最も多く 30.8%となっています。

表 26 小学生のいる家庭における病児保育の利用状況

単位: %

小学生のいる 母親の就労状況		利用したい 保育施設など を	できれば病 気の子のため の	利用したい と思わな い	不明
合計	【N=496】	20.0	77.0	3.0	
フルタイムで働いている	【N=166】	28.3	69.3	2.4	
フルタイムで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）	【N=2】	0.0	100.0	0.0	
パート・アルバイトなどで働いている	【N=308】	14.6	82.1	3.2	
パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）	【N=0】	0.0	0.0	0.0	
以前は働いていたが、今は働いていない	【N=13】	30.8	61.5	7.7	
これまで働いたことがない	【N=1】	0.0	100.0	0.0	

(6) 留守家庭児童育成室の利用状況

留守家庭児童育成室の利用を、小学1年生から3年生のいる家庭にたずねたところ、「利用している」が22.6%、「利用していない」が76.2%となっています。さらに、「利用していない」と答えた方に、今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、留守家庭児童育成室を利用したいかをたずねたところ、「今後も利用しない」が最も多く66.6%となっています。

表 27 留守家庭児童育成室の利用状況

単位: %

	利用している	利用していない			不明
		利用したい	今後も利用しない	不明	
合計【N=698】	22.6	5.7	66.6	3.9	1.1
1年生【N=228】	27.2	7.9	60.1	3.5	1.3
2年生【N=245】	23.3	4.5	68.2	2.4	1.6
3年生【N=225】	17.3	4.9	71.6	5.8	0.4

(7) 子どもの遊び場

地域の子どもの遊び場について、日ごろ感じることをたずねたところ、就学前児童のいる家庭・就学児童のいる家庭ともに「雨の日に遊べる場所がない」が最も多くなっています。

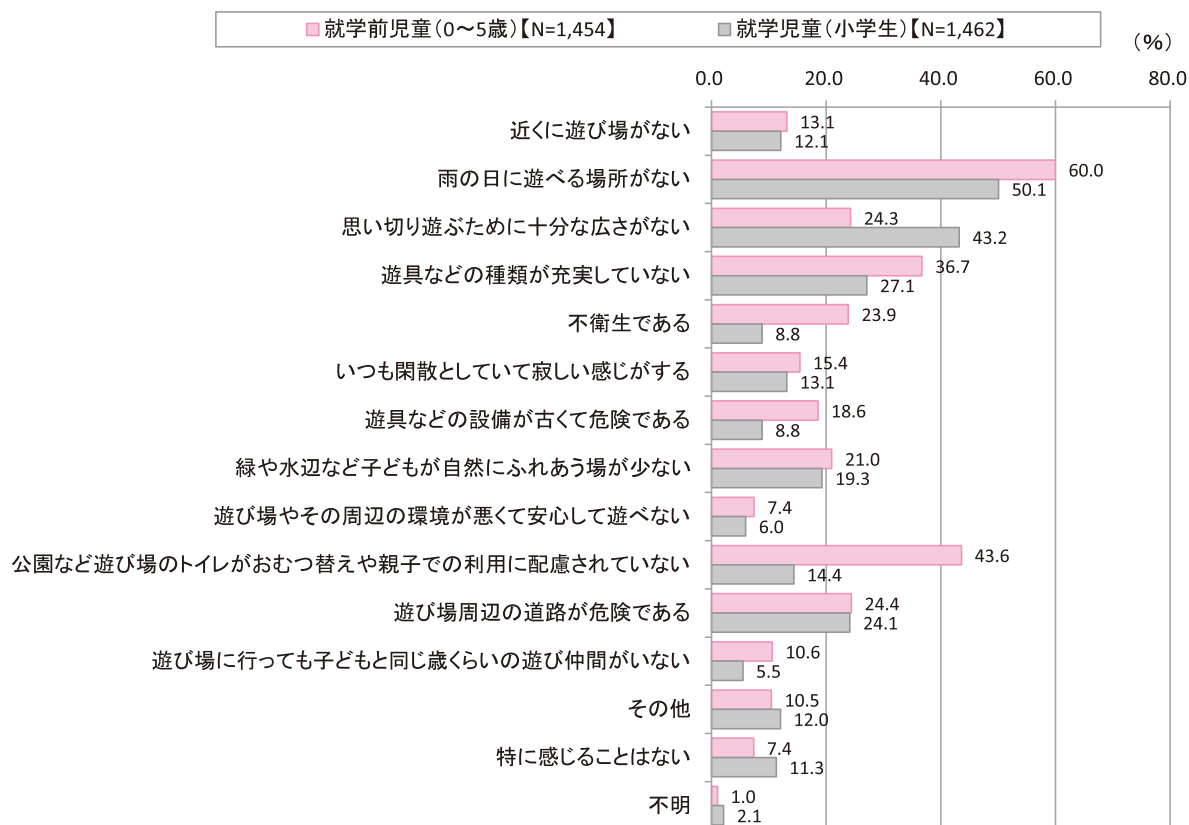


図 27 子どもの遊び場について日ごろ感じること

(8) 子育てに対する意識

子育てをする中で、どのような支援・対策を有効だと感じるかをたずねたところ、就学前児童のいる家庭では「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が最も多く 44.4%、就学児童のいる家庭では「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が最も多く 60.3%となっています。

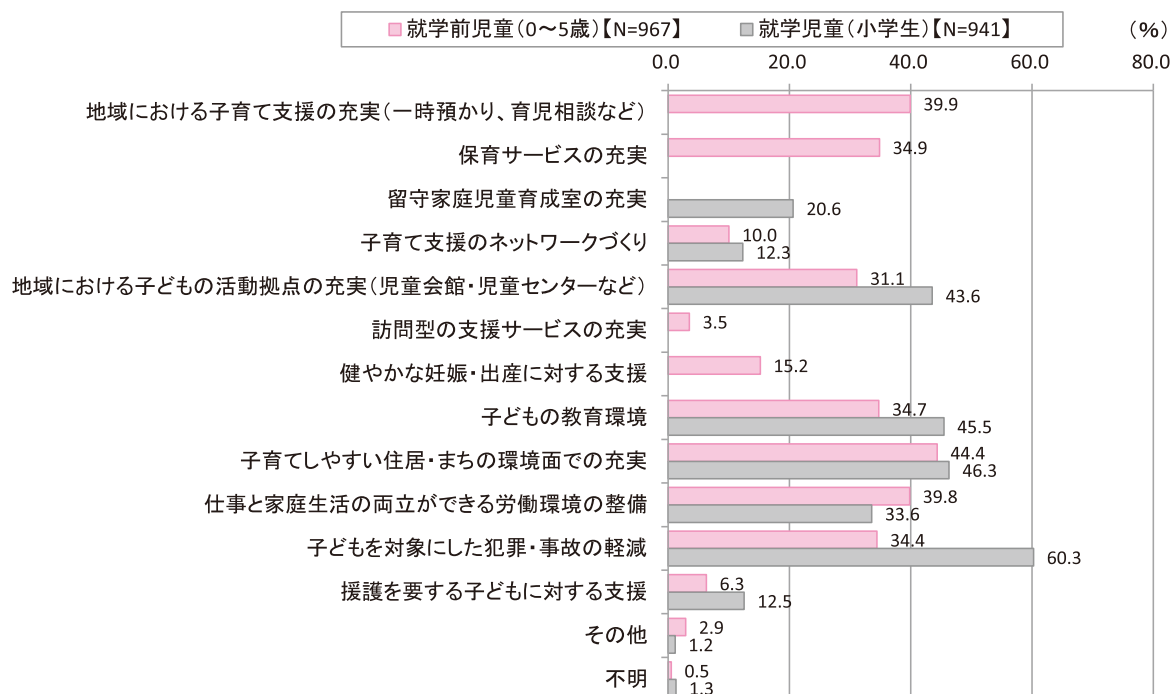


図 28 子育てに対する有効な支援・対策

子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策をたずねたところ、就学前児童のいる家庭では「地域における子育て支援の充実(一時預かり、育児相談など)」が最も多く 51.1%、就学児童のいる家庭では「子どもの教育環境」「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が最も多く、それぞれ 43.2%となっています。

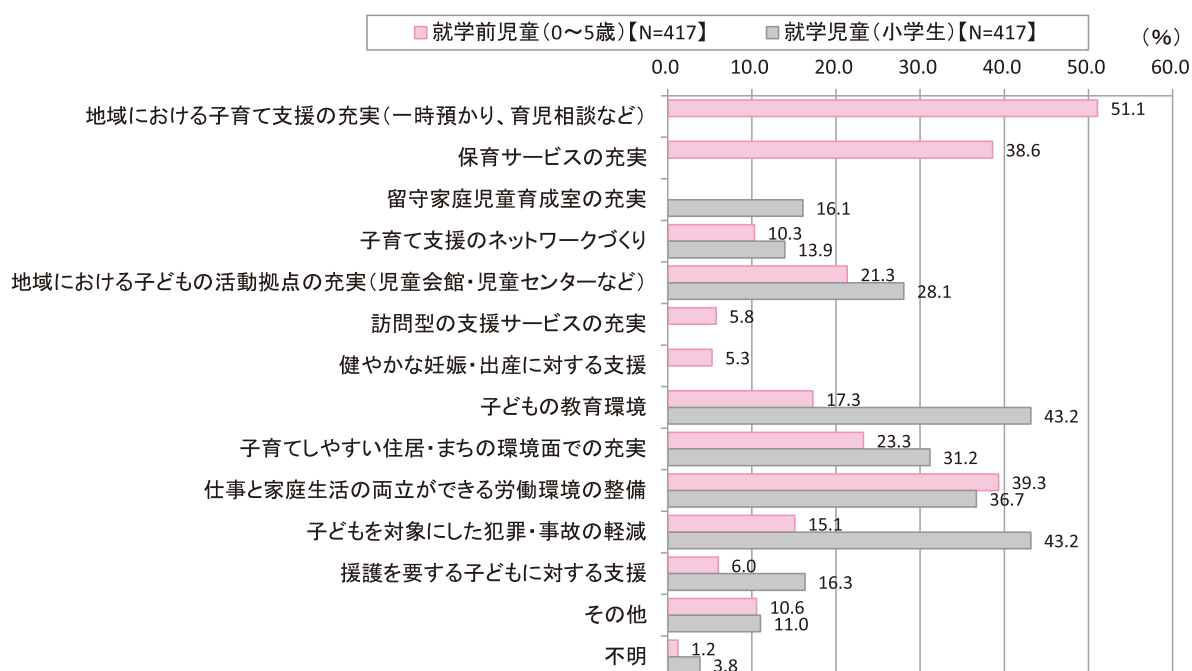


図 29 子育てのつらさを解消するための必要な支援・対策

(9) 行政に対して希望するもの

市役所などに対して、子育ての経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいかをたずねたところ、就学前児童のいる家庭・就学児童のいる家庭ともに「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が最も多くなっています。

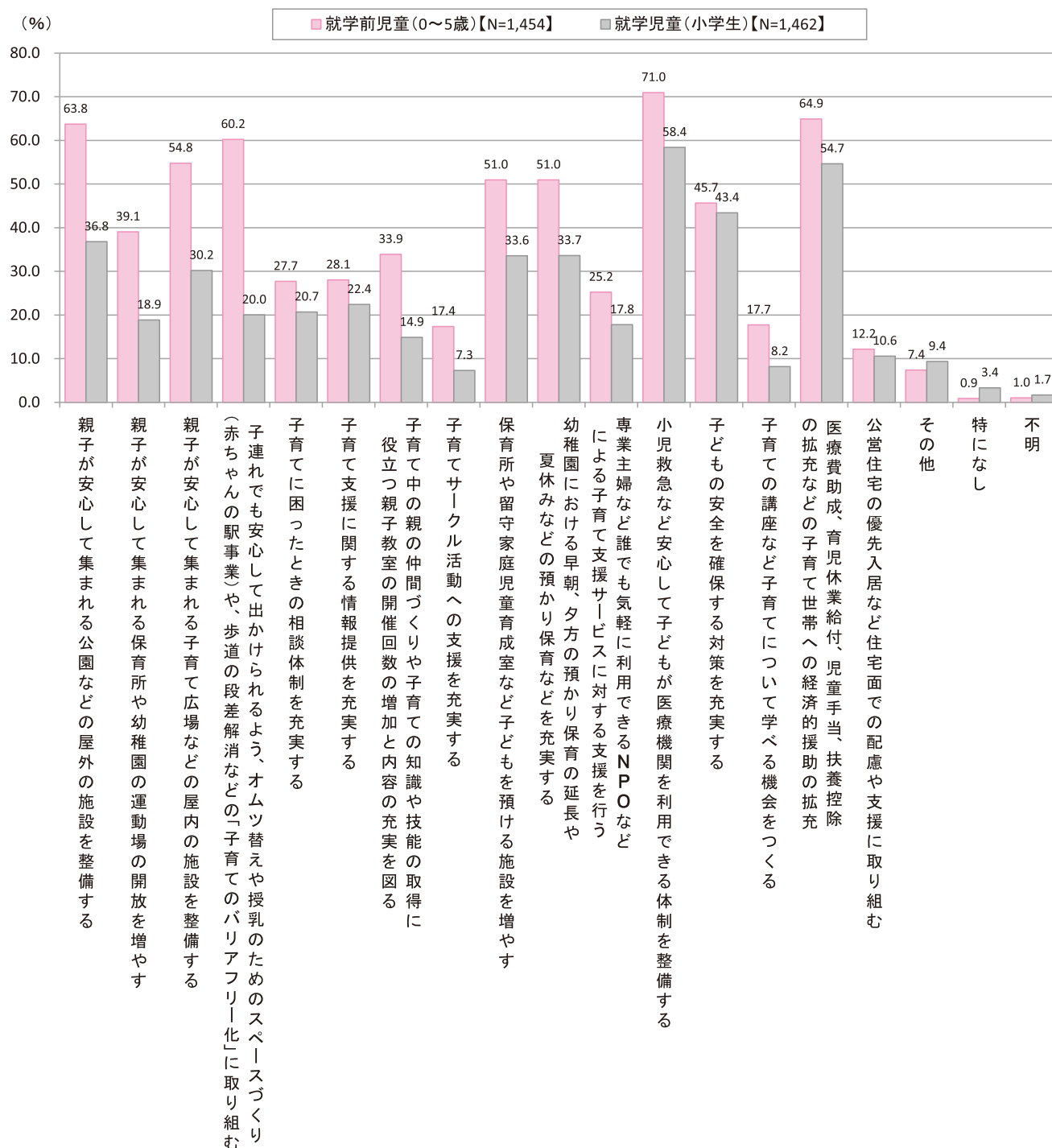


図 30 充実してほしい子育て支援サービス

(10) 自由意見

ア 就学前児童（0～5 歳）

810 件 (55.7%) 【回答総数 1,454 件】

意見の要点等	
（ア）保育について	
	保育園の申込みはすでに終わりましたが、吹田市は待機児童が多いということで入所できるかとても不安です。
	仕事をしていないから保育園に入れない。保育園に入れないから仕事ができない。
	延長保育料の負担を減らしてほしい。父母ともに働いているので 18 時まで迎えに行くのはほぼ不可能。
	半日や 1 日などの長時間でなく 2、3 時間低料金で気軽に託児が利用できたら育児がもっと楽になると思います。
	認可外保育園にも認可保育所と同等か準ずる補助をしてほしい。子どもを安心して預けられないと、安心して仕事もできない。
	子どもが病気になった際、預けられる施設を増やしてほしい。インフルエンザ、水ぼうそうでも休めない場合がある。
	地域によって保育所等の施設の数や充実性に差があると思う。朝の通勤電車で乳幼児を連れて乗車するのはとても怖いので、待機児童が多い地域の施設を増やしてほしい。
（イ）幼稚園・学校について	
	幼稚園の預かり保育について、夏休み、冬休みに預かり保育がなく、パートで働くことが難しい。夏休みも日頃通っている幼稚園で子どもを見てもらえれば、安心して働くことができます。
	小学 4 年生以上 6 年生までの留守家庭児童育成室の開設を願います。近所の保育所などで、放課後お手伝いをさせてもらう感覚で、時間を過ごせたら、教育上にも役立つと思います。
	留守家庭児童育成室の利用時間を 19 時まで延長してくれればと思います。
（ウ）地域における子育て支援について	
	家計のため働きに出たいとずっと思っています。でも、現実働けていません。春休み、夏休み、冬休みと長期の休みに入ると子ども達を家においておくことができません。職場に託児所がある所や、休暇中受け入れてくれる所を増やしてほしいです。
	子育てに関する講座がたくさんあると良いなと思います。行っている保育園のお部屋開放も週 3 回しかないのもっと開放してもらえたら良いなと思います。
	本の読み聞かせ、子育てサロン、保育所のフリールームなど、いろいろ利用させてもらっていますが、もう少し回数を増やすか時間を長めに設けていただきたいです。
	土曜、日曜などの休日にも家にいないことがあるので、休日にも赤ちゃん会や施設の開放をしてほしい。
	江坂町周辺に住んでいると、子どもの施設がある千里山、南千里や山田などにはなかなか出向きにくいので、もっと江坂周辺に施設を充実してほしい。
	核家族になり親が子どもにきつくあたり言葉で虐待していても、周囲には気づかれていないこと。子ども本人が SOS 出せないこと。もっと地域の密着が必要で積極的に参加しない家庭には注意が必要である。
（エ）保健・医療について	
	子どもの医療費助成の所得制限をなくして下さい。
	健診で専門家の対応に疑問を感じる。データ重視で親を不安にさせるだけで結局何も問題無く、不信感が募るだけ。
	近くに救急病院がない。
（オ）生活環境の整備について	
	交通量が激しいのに、車道と歩道の境目がないことが多く、車にひかれそうになったりする。
	通行人が置いて行ったペットボトルやアルミ缶を興味本位で子どもがさわろうとするので、ゴミ箱の設置を増やしてほしい。
	子どもが安全に遊んだり、地域の方に見守られたりする環境があれば良いと思います。

(カ) 施設利用について	
	遊び場が少ない。公園は多いが整備されていない。ボール遊びができる広場がない。小学校の運動場を開放してほしい。
	児童センターを利用したいが、老朽化が目立ち、遊具や床も衛生的とはいえない。
	公園の砂場が汚れていて、気持ちよく遊べない。
	公園のトイレの衛生面、赤ちゃん用のオムツ替えシートをもう少し改善して欲しいです。
(キ) 障がいについて	
	支援が必要な子どもであることの理解や協力をお願いしていくことが、当事者や家族の域から外への広がりが薄く感じます。
	どんな障がいの方でも構わないので集まれるサークルがあると嬉しいです。症状は違えども悩みを聞いてもらったりするだけで不安や心配も少しは解消される。あまり外に出ることができず悩んでいる親がたくさんいると思います。
(ク) その他	
	少子化と言っている割には子育て支援が充実していないと思う。また、幼保一体化もそれに反していると思う。
	少子化が進む中、保育園の増設は良策ではなく、幼稚園などの長時間預かり保育などを改良した方がよいと思う。
	自分（母親）が仕事をしているので、近所で子どもと同じ年くらいの子が、遊んでいると、少し不安になる。小学校にあがると友だちがいない。子どもはすぐに仲良くなれると思うが、親が仲良くなるのは難しい。
	幼児期の子どもの成長、発達にとって正しい知識や経験に支えられた保育者や保健師、看護師からのサポートはとても大切と感じている。保育は決して「サービス」ではなく、人を育てる重要な役割になっている。子育て、教育にもっとお金をかけて未来を作ることに投資して欲しい。
	子育てがしんどくなる時があります。多くの保護者がそうだと思います。少しでも良いので自分の時間を定期的に持つことができれば、息詰まることもなく、また、子どもをかわいいと思えると思います。

イ 就学児童（小学生）

607 件(41.5%)【回答総数 1,462 件】

意見の要点等	
(ア) 小学校について	
	市として学力向上の取組みに力を入れて欲しい。
	毎日学校を開放してもらえたらとても助かる
	学校の先生に対する悩みを受け付け、対処してくれる気軽な相談窓口が必要。クラスに担任だけでは不足だと思う。問題のあるクラスには、もっと教師や援助がすみやかに提供できるようにするべきである。
	学力が低いことを改善してほしい。教師もあまりよい評判を聞かない。
(イ) 地域における子育て支援について	
	学童があるのは小学3年生までですが、小学4～6年生の学童も作ってほしい。
	緊急時に子どもを預ける場所が遠く、また、条件が厳しい。
	国際交流で小中学生を対象としたホームステイをぜひ実施してほしいです。
	病児保育施設を充実してほしい。
	何事においても所得制限で支援を受けられないのが残念です。
	子育て世帯への経済的援助の拡充を積極的に実現して欲しいです。
	幼保一体化や民営化などで保育の格差が出ないことを願います。
(ウ) 保健・医療について	
	医療費助成の所得制限なしを強く望みます。子どもは等しく無収入なのだから親の収入で差別するべきではありません。

(エ) 生活環境の整備について	
	下校時や放課後、見守りパトロールなどで児童の安全・安心が得られるようにしてほしい。
	不審者情報のメールがあまりにも多く不安です。パトロール等をもっと強化してほしいです。
	道路の整備ができていないように感じます。歩道が狭くでこぼこしていたり、電柱がとび出していたり、子ども達が安全な道とは言えません。
(オ) 施設利用について	
	子どもがのびのびと遊べる広さの公園がほしい。雨の日でも遊べる施設があると良いと思う。
	住まいの周辺の公園は、小さくてかつ人気が少ないので、小学生が思いきり遊ぶには物足りないようです。
(カ) その他	
	子育てに関する情報が入手しにくく、自治体などの支援や制度がどの様になっているのかよく分らない。
	仕事をしながら子育てをしてきましたが、「求職中」の時は保育園への入所がかなわず、延長保育のある幼稚園へ入園しました。働ける環境が整えば、もっと働きたいと思っている母親は多いと思います。
	子ども2人が小さい時は「いつも、誰か助けて!」と思いながら育てていました。どちらの両親も遠隔地に住み、1人が病気になった時などは手が足りませんでした。私の様に育児に良い思い出が無い方のほうが多いと思います。少しでもその様な方が減少することを願います。
	児童センターなど赤ちゃん連れで集まれる場所があったので、子育てについて意見を聞いたり友達作りの場所があったりしてずいぶん活用させてもらいました。おかげで家にこもったりストレスを抱えて悩んだりすることも少なく、楽しく子育てする事ができました。

なお、アンケート調査結果の概要については、94 ページを参照してください。